

コロナ禍の出版業界

— 流通変化と業界再編が進む2022年の展望 —

コロナ禍も3年目となるなか、電子書籍市場の拡大や「GIGA スクール構想」の加速など、出版業界を取り巻く環境変化は加速度的に進んでいます。これに対して業界では、出版流通に対する大手取次による改革や、出版社による新たな取り込みなどが進められています。こうした動きを通して、出版業界のこれからの方向性や課題についてレポートします。

— 主な講義内容（予定） —

- ・ 出版市場の推移
- ・ コミック市場は過去最大に
- ・ 導入進む電子図書館
- ・ 最大手電子取次・大手印刷会社と提携したトーハン
- ・ POD と出版流通
- ・ 電子取次と出版プラットフォーム
- ・ 減る書店と増える書店
- ・ JPIC の新たな取り組みと業界団体再編の可能性

※進行の都合により内容が変更される場合があります

講師 **星野 涉**（ほしの・わたる）氏
文化通信社 専務取締役

株式会社文化通信社専務取締役 1964年東京都生まれ。1989年國學院大學日本文学科卒、文化通信社で主に出版業界取材してきた。NPO 法人本の学校理事長、東洋大学、早稲田大学で非常勤講師。著書に『出版産業の変貌を迫る』（青弓社）、共著に『本屋がなくなったら、困るじゃないか』（西日本新聞社）など。

◇ ◇

日時：2022年4月27日（水）15:00~17:00
Zoom によるオンラインセミナー

主催：一般財団法人日本出版クラブ
TEL 03-5577-1771

定員：120名（申込順、定員になり次第締切ります）

参加費：出版クラブ維持員社 4,000円

一般 6,000円

維持員社一覧 <https://shuppan-club.jp/member>

詳細・お申込みは

<https://jpc2022webinar.peatix.com>